

地域ケア個別会議 実施概要

【令和元年度 実施分】

No	包括	性別	年齢	要介護認定	住まい	課題
1	あさくさ	男性	60代	要支援2	独居	障害福祉サービスからの移行に際し、生活環境の変化から精神的に不安定になる可能性があるため、介護保険サービスへ段階的に適応できる方法を考える。
2		男性	70代	要介護1	独居	自宅での生活を望んでいるが、サービス利用を望んでいない。本人は問題意識を感じていない。
3	やなか	女性	90代	要介護2	同居 (子2人)	認知症があるも1日中散歩している。家族は本人の意向に任せており熱中症、行方不明等の可能性がある。
4		男性	60代	未申請	同居 (姉妹)	体調不良により屋外で頻回に倒れ、通行人が救急車の要請をするも搬送を拒否される。同居の姉妹は精神的に不安定であり信頼関係の構築が困難。
5		男性	80代	要介護4	独居	寝たきりで生活全般の介助を知人が行っているが不十分。本人・知人はサービスの利用や受診等に消極的。
6		女性	80代	要支援1	独居	認知症等により自身での金銭管理・書類管理が難しくなっている。現状は知人が金銭管理をしている。
7		男性	80代	要介護2	独居	認知症があり一人暮らし。室内で転倒し、現在は入院中。本人は自宅を離れたくないとの希望が強く、今後の支援方法について検討する。
8	みのわ	女性	80代	要介護1	独居	本人より、不在時に物の場所が変わる・紛失する等の訴えがある。また、内科的な医療受診を中断中。
9		女性	70代	要介護1	同居 (同居人)	本人と近隣住民との関係に宗教が絡んでおり、ケア支援チームと近隣住民との間に意見の相違がある。
10		女性	70代	未申請	独居	本人より近所の人が部屋に入ってくる等の被害妄想が見られるが、専門医の受診につながっていない。
11		男性	70代	要支援2	独居	病気の悪化・再発の恐れがある。各種滞納や訴訟など、金銭面に関する支援が必要。
12	くらまえ	女性	80代	要支援2	同居 (夫)	「夫婦で自宅での生活を続けたい」との希望があるが、夫婦ともに認知症・理解力の低下があり、サービス利用の拒否や金銭管理等の課題がある。
13		男性	40代	要介護1	独居	金銭管理、健康面、今後の生活について。
14	まつがや	男性	80代	未申請	独居	身寄りがなく、入院時の手続きや死亡した場合の準備について不安を感じている。
15	たいとう	男性	70代	要介護1	独居	白内障が未治療で視力が低下している。日常生活に支障があるが、本人は公的サービス利用の意向がない。
16		女性	70代	未申請	同居 (夫、子)	日付・場所を間違える等物忘れが多くなっているが、本人や家族は認知症になるわけないと考えている。



17	たいとう	女性	70代	要介護1	同居 (夫)	ケアマネジャー等の支援者に対する拒否が見られ、自殺願望などの強い不安感がある。
18		男性	70代	未申請	同居 (妻)	認知症があり、お金をどこに、どのように預けたか分からない。委任契約の受任者との関係構築までの対応。
19	ほづら	女性	80代	要介護1	同居 (同居人、子)	認知症があり、頻繁に区役所や地域包括支援センターに相談しては、毎回同じ訴えをされる方への対応。
20		女性	90代	要介護1	同居 (夫、子)	本人は認知症、子は精神疾患がある。家族を支える夫は90代であり、家族全体の支援が必要。
21		男性	80代	要介護1	独居	認知症があり、所持金を使い過ぎてしまう方の金銭管理支援及び、支援につながるまでの対応。